

次期西部圏域振興計画「長期ビジョン」(案)

(2060年頃の目指すべき将来像)

- 1 豊かな風土と輝く人々が世界を魅了する にし阿波
- 2 安全・安心で健やかな暮らしが未来を育む にし阿波
- 3 受け継がれてきた伝統と多様な交流が新たな価値を創造する にし阿波

圏域の地域資源や地域特性を活かした、2060年頃の目指すべき将来像を記載しています。このビジョンを基に、中期プランにおいて圏域振興の方向性を示します。

【3つの目指すべき将来像】

1 豊かな風土と輝く人々が 世界を魅了する にし阿波

剣山山系や雄大な吉野川が創り出す日本の原風景と称される美しい自然や景観が未来へと継承され、その豊かな風土や地域の人々が「にし阿波」の魅力として輝きを放ち、世界を魅了する「にし阿波」を目指します。

2 安全・安心で健やかな暮らしが 未来を育む にし阿波

土砂災害や地震、大雪などの自然災害に備えるインフラ整備の一層の進展はもとより、「にし阿波」が育んできた人と人、人と地域とのつながりにより、誰もが安全・安心で健やかに暮らすことのできる、未来を育む「にし阿波」を目指します。

3 受け継がれてきた伝統と多様な交流が 新たな価値を創造する にし阿波

「にし阿波の傾斜地農耕システム」をはじめとする「にし阿波」に息づく伝統と、この地域に惹きつけられた人々との多様な交流により、文化、食、ものづくりなどあらゆる分野で融合が生まれ、新たな価値を創造する「にし阿波」を目指します。